ことしも　またまた
# えがお！
四街道市立みそら小学校　校長室だより
NO．３２　R６.９.２（月）　＜こどもばん＞

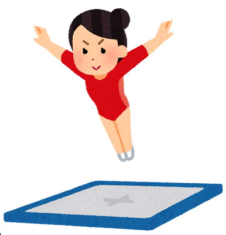
## ＜オリンピック選手の努力から学ぶ＞

この夏は４年に１度のパリオリンピックが開かれました。毎日のようにテレビでオリンピックを放送していたので、見た人も多いと思います。

日本の選手がたくさんメダルをとりました。うれし涙を流した選手もいました。残念ながら、メダルに届かなかった選手も涙を流しました。柔道の阿部詩選手が人目をはばからず泣き崩れる姿には、次の試合がストップしてしまう、とか勝った選手のことも考えて、とか批判の声もありました。確かにそういう見方があるかもしれません。でも、校長先生は、これだけ泣くほど、つらい練習に毎日毎日打ち込んで来たのだな、勝たなければいけないプレッシャーは相当だったのだろうな、人知れぬ努力を続けてきたからこその涙であり、これだけ打ち込めるものがあることは素晴らしいと思いました。パリの会場の観客も励ますような拍手と声援を送りました。

目標を決めて努力することの素晴らしさ。皆さんもどんな２学期を過ごすのか、目標をしっかり立ててそれに向かって努力しましょう。そういう充実した２学期にするのか、何となくだらだらと過ごす２学期にしてしまうのか。７月に「命」とは時間の使い方である、というお話をしました。皆さんが２学期、どういう時間の使い方をするのか、この話をもとに、よく考えてみてください。

また、オリンピックについては SNS ではミスした選手を傷つける言葉(誹謗中傷）が書き込まれたこともニュースになりました。書き込んだ人はこれまで選手が重ねてきた陰の努力をどれだけ知っているのか。選手たちは喜びだけでなく悔しい思いとも一生向き合っていくというのに、どうしてそんな言葉が言えるのか。前回の東京オリンピックから３年。全てをかけて挑んだ選手たちを傷つける言葉はあってはなりません。メダルを獲得したしないに関わらず、がんばった選手たちは十分誇らしいと思います。皆さんも SNS を使うことがあるかもしれませんが、人を傷つける言葉を書き込むことは決してしてはいけません。



さあ、２学期の始まりです。２学期は運動会を始め、学年ごとの楽しい行事もいくつか予定されています。一人一人が自分で考えて行動し、実りある素敵な２学期にしましょう。